

ヘラクレスオカブト



協力隊の毎月通信始まりました!!

大木町で昆虫ふれあい体験、大盛況

大木町協力隊

初主催のイベント

私たち大木町協力隊は六月八日、道の駅おおき隣、

「WAKKA」で大木町地域おこし協力隊の初主催となる昆虫ふれあい体験イベントを開催しました。このイベントは、地域内外から幅広い年齢層の人々が集まり、約千三百人の来場者を迎え大成功を収めました。

当日は、子供から大人までが楽しめるよう、十種類以上の外国のカブトムシやクワガタムシを触ったり写真が撮れる特大ケージを設置。その他にも昆虫標本の展示や生体の展示販売も行っていました。町内外のたくさんの子ども達からも「普段見ることができないカブトムシやクワガタが見れて良かった」「実際に触れ合えることができて良かった」「また来たい」などの声がありとてもいいイベントになりました。



カブトムシ養殖場現場写真

一方大きな課題が浮き彫りに・・・

多くの方々にお越しいただき、昆虫の魅力を伝えることができて嬉しかった反面と多くの課題も見つかりました。

来場者が長い列を作ってしまった、待ち時間が長くなったことや、駐車場が不足していたことなどです。次回八月に昆虫イベントを開催予定になるので今回の反省を生かし頑張りたいと思います。



左から協力隊の小田、高橋、平松（設営の様子）



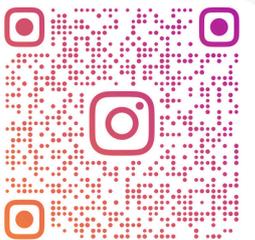
作業の様子

日本一？の養殖場プロジェクト始動

大木町協力隊は五月から国産のカブトムシ養殖場の作成をスタートしました。

この養殖場はキノコを作る過程で出るごみ（廃菌床）をカブトムシの幼虫に食べてもらい、肥料、飼料など様々な資源に変える循環型の取り組みを行う場所です。

これから完成にむけて多くの作業が残っていますが、最終的には何万匹ものカブトムシの幼虫を養殖する日本一大きなカブトムシ養殖場、そして新しい循環型の施設になる予定です。



OKITOWN_KYORYOKUTAI